令和２年度東京都教育委員会研究推進団体　教育実践発表

東京都高等学校数学教育研究会

団体の概要

東京都高等学校数学教育研究会（都数研）は、70 年以上の歴史を持つ研究団体で高等学校の教員を中心に大学生や社会人まで 120 名ほどの会員が活動している。

都数研として授業研究・講演会等を行うとともに、研究部と編集部を組織し、研究部では５分科会に分かれて研究活動を行い、その成果を全国大会等で発表し、広く共有している。編集部では研究成果等を取材・集約し、年３回の会報と研究集録にまとめている。また、「高校生のためのオンライン先端数理科学見学会」を開催した。

分科会紹介

学習指導法分科会

研究テーマ：高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集づくり
活動状況　：毎月１回、オンラインや都立高校（主に日比谷高等学校）で開催
研究方法　：毎回参加者が教材を持ち寄り、意見交換するとともに、その実践等を通してより洗練された教材にし、それらを教材集にまとめる。

大学入試分科会

研究テーマ：大学入試問題の研究を通して、高校数学と大学数学とのつながり
活動状況　：学期に２回程度、オンラインで開催
研究方法　：各自が分担した大学の入試問題の検討結果を報告し、入試問題として内容や表現が適切か、どのような解法が考えられるか、問題の背景にどのような定理・公式・理論が広がっているか、日々の授業にフィードバックできることはないか等の研究協議を行っている。

ＩＣＴ分科会

研究テーマ：分科会のサイトを活用した教材の共有、教材の整理
　　：ソフトウェアの活用・教材作成、授業研究
　　：デジタル教科書の研究、ICT 講習会の開催
活動状況　：２か月に１回程度、オンラインや都立高校（主に保谷高等学校）で開催
研究方法　：年間計画に基づき、毎回、教材研究、授業実践、ICT ソフト研修、CBT の研究、デジタル教科書の研究を行っている。

定通分科会

研究テーマ：定通教育指導体験発表会（１月）に向けて、定時制の生徒を対象にした分かりやすく、生徒を引き付ける授業の実践研究
活動状況　：２か月に１回程度、都立高校で開催
研究方法　：担当者を決め、研究授業の指導案を検討、模擬授業で確認・改善し、実践を行う。成果と課題を、定通教育指導体験発表会で発表する。

数学Ⅰ分科会

研究テーマ：数学Ⅰ・数学Ａ全般に関する研究、指導方法の研究、実践例の報告
活動状況　：学期に１回程度、都立高校を会場として分科会を開催
研究方法　：数学Ⅰ・数学Ａにおける実践例の報告やＡＬの導入教材の紹介などを行い、授業実践につなげる。

代表者：
都立葛西南高等学校
校長　佐々木雅人
連絡先：
都立保谷高等学校
主幹教諭　宇佐美俊哉
TEL：042（422）3223　　Mail：info@tosuuken.jp